

ヒトゴトにしない「観光地のゴミ問題」

穴埋めワークシート

観光地のゴミの課題

近年、観光地では観光客が多く訪れるからゴミの（1　ポイ捨て）が増加し、
(2　環境) や地域住民の生活に深刻な影響を及ぼしています。

観光地のゴミ問題を加速させているのが（3 オーバーツーリズム）です。

取分け、（4 インバウンド）の増加による（3 オーバーツーリズム）が問題となっており、それに伴いポイ捨ても増加していることが指摘されています。

日本の観光地は（5　ゴミ箱）が少ないことが指摘されます。そのため、観光客が出したゴミを捨てる場所がなく、ポイ捨てにつながります。

ゴミの分別ルールは国が統一ルールを設けているわけではなく、（6　市区町村）ごとに異なり、観光客はどのように捨てればよいか判断できず、分別が確実におこなわれずに収集の手間が増えることになります。

観光地のゴミは効率的に収集するのが難しく、多くの人手を必要とするため、ゴミ収集は深刻な（7　人手不足）がおきています。

さらに、自治体の（8　財源不足）もゴミのポイ捨て問題の大きな要因となっています。

観光地のゴミの増加は（2　環境）に様々な影響を与えます。

- 急増したゴミの収集や焼却は多くの（9　温室効果ガス）が発生し（10　地球温暖化）が進む
- 分別せざるを得ないと資源が（11　再利用）できなくなり資源の量が減少し枯渇する
- ポイ捨てされたペットボトルやプラスチックの食品容器が雨や風によって海に流れ出て、（12　マイクロプラスチック）となり海洋汚染を引き起こす

ゴミによって観光地の清潔さが損なわれると、（13　観光価値）が下がり、観光客の減少につながります。